

令和6年度 第2学年 音楽科 学習の指針（シラバス）

1. 学習の目的（教科の目標）

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しめるようにする。
- (2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創造的に表現する力を高める。
- (3) 多様な音楽に対する総合的な理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する力を身につける。

2. 学習計画

学期	学習内容	学習のねらい
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○「校歌」 ○全校合唱曲、学年合唱曲 ○「夢の世界を」 ○歌唱テスト ○鑑賞「フーガト短調」 ○「夏の思い出」 ○「夏の日の贈りもの」 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の歌であることを意識し、式典でも堂々と歌えるようにする。 ・8分の6拍子について理解する。 ・歌詞の内容や、前半と後半のリズムや音の重なり方の違いなどから曲想の変化を理解する。 ・混声3部合唱の響きを感じながら歌う。 ・フーガの構造を理解する。 ・主題を聴き取り、それが追いかけてながら重なり合っていく面白さを味わう。 ・パイプオルガンの構造を理解する。 ・情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌う。 ・強弱の変化を意識して歌う。 ・旋律の動きやフレーズ、強弱の変化に注目し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○鑑賞「アイーダ」 ○定期テスト（筆記） ○合唱コンクールに向けて （自由曲、学年合唱、全体合唱） ○歌唱テスト ○「荒城の月」 ○「サンタルチア」 ○鑑賞「交響曲第5番ハ短調」 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合芸術としてのオペラの美しさを味わう。 ・演奏形態による印象の違いを感じ取る。 ・学級ごとによりよい合唱になるように協力して取り組む。 ・曲調や歌詞の意味を意識し、ハーモニーを感じながら歌う。 ・歌詞と旋律が生み出す雰囲気味わいながら歌う。 ・8分の3拍子の雰囲気をとらえ、曲想を生かして歌う。 ・リズムの揺れを感じ取って歌う。 ・曲の構成と曲想のかかわりを理解し、オーケストラの響きを味わう。 ・ベートーヴェンについて知る。
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○送る会の歌 ○卒業式の歌 ○鑑賞「歌舞伎『勧進帳』」 ○歌唱テスト ○定期テスト（筆記） 	<ul style="list-style-type: none"> ・声部のバランスを保ち、美しいハーモニーを目指す。 ・旋律の流れを生かし、感情を込めた表現の工夫をする。 ・三味線の体験を通して、三味線の音や構造、表現の豊かさを知る。 ・日本音楽の良さを感じ取る。

3. 評価

項目	評価の内容	評価の方法
知識・技能	曲想と音楽の構造などとの関わりや、音楽表現を楽しむために必要な歌唱の技能を評価します。	歌唱テスト、定期テスト、鑑賞ワークシートなどで評価します。
思考・判断・表現	音楽表現を考えて表現に対する思いを持つことや、曲や演奏の楽しさを見出しながら音楽を味わって聴く能力を評価します。	歌唱テスト、鑑賞ワークシートなどで評価します。
主体的に学びに向かう態度	楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする態度を評価します。	毎回の授業の取り組み、振り返りシートなどで評価します。

4. 「確かな学力」のためのアドバイス

(1) 表現

- ① 範唱CD、先生の声、友達の声をよく聴いてまねて表現する。
- ② 失敗をおそれずに声をしっかりと出す。
- ③ 課題に積極的に取り組む。
- ④ パート練習に積極的に参加する。
- ⑤ 学級での歌声活動にも一生懸命に取り組み積み重ねを大事にする。

(2) 鑑賞

- ① 題材をよく理解する。
- ② 聴く時のポイント（ねらい）を捉えて聴く。
- ③ 日頃から様々な音楽に関心を持つ。
- ④ 自分の好みに捉われず、音楽の良さを感じ取って聴く。